

# 看護補助者との協働のための研修プログラム

## 1) 研修目的

看護職が看護補助者との協働推進のために必要な知識や考え方を理解し、現場での安全な業務実施のための役割分担や業務指示に活用することができる。

## 2) 研修目標

- (1) 看護補助者との協働の必要性について理解できる
- (2) 看護補助者の制度的な位置づけを理解できる
- (3) 看護補助者と協働する看護業務と業務実施体制の基本的な考え方について理解できる
- (4) 看護補助者へ業務指示を行う看護師の指示責任について理解できる
- (5) 看護補助者との協働のためのコミュニケーションの方法について理解できる

## 3) 研修の対象

医療機関の看護職（看護管理者対象の研修受講者を除く）

## 4) 研修実施の枠組み

### (1) 受講の時期

- ・当該医療機関に入職した際は必須とする
- ・定期的に研修を受け、知識を更新することが望ましいが、研修内容をすべて再受講する必要はなく、国の施策等の変更や各施設での看護補助者の雇用や業務状況に変更があった場合は必ず受講する

### (2) 研修実施方法

- ・各施設でこれまで実施していなかったこと、研修内容を考慮すると一定のボリュームがあること、教育担当者および受講者の双方の負担軽減を図る必要があることから、職能団体等のオンデマンド研修の活用を検討する

### (3) 研修作成にあたり留意すべき事項

- ・看護師、准看護師等、職種ごとの役割や責務については、法令等に基づき明確にする
- ・法令やガイドライン等に基づき、内容を構成する

#### 【参照資料】

- ・保健師助産師看護師法
- ・厚生労働省告示「基本診療料の施設基準等の一部を改正する件」
- ・厚生労働省通知「基本診療料の施設基準等及びその届出に関する手続きの取り扱いについて」
- ・看護チームにおける看護師・准看護師及び看護補助者の業務のあり方に関するガイドライン及び活用ガイド（日本看護協会）

## 5) 研修プログラムの構成

### 【基礎編】4時間程度

・各科目とも、研修の学習効果と受講の利便性を勘案し、10～15分程度に分割した章立てで構成

科目	到達目標	内容
看護職と看護補助者との協働推進の背景	1) 看護補助者との協働の必要性が述べられる	・看護職と看護補助者との協働推進の背景（国の施策、医療の動向等）
看護補助者の位置づけ	1) 看護補助者の制度的な位置づけを理解できる 2) 看護補助者への教育・研修内容とその必要性が理解できる	・看護補助者の制度的な位置づけ ・告示・通知等で規定されている業 ・看護補助者の背景等 ・看護補助者の教育・研修内容
看護補助者と協働する看護業務の基本的な考え方	1) 看護職と看護補助者が協働する際の基本的な考え方が理解できる 2) 看護職と補助者の役割と責任が理解できる 3) 効果的・効率的な看護を提供するための業務実施体制の整備の重要性や内容が理解できる	・看護チームにおける看護職の役割と責任 ・看護職と看護補助者との業務内容及び業務範囲 ・協働するうえで必要な業務実施体制（看護補助者の業務範囲の明確化、指示の規定の整備、業務の標準化等） ・情報共有等の重要性
看護師の行う指示について	1) 看護補助者へ業務指示を行う指示責任について理解できる 2) 看護補助者に適切な指示を出す際の留意事項について理解できる	・看護補助者への指示責任 ・業務の適切な指示を行う際の留意事項（対象者の状態把握と看護補助者の能力および業務範囲を踏まえた判断、適切な指導を行う責任等） ・「周辺業務」「直接ケア」における指示内容の特徴 ・指示を行った業務に関する確認・評価 ・指示と実施に関する記録
協働のためのコミュニケーション	1) 看護チームとしての情報共有や情報管理のあり方について理解できる 2) 看護補助者との協働のためのコミュニケーションについて理解できる	・看護チームとしての情報共有や情報管理のあり方 ・看護補助者との協働のためのコミュニケーション

### 【各施設で実施】1時間程度

科目	到達目標	内容
自組織における規定や運用	1) 看護職と看護補助者の協働に関する自施設における規定や運用が理解できる 2) 多様な場面における協働のあり方について理解できる	・職務規定、業務基準や業務マニュアル ・看護師から看護補助者への指示についての運用 ・場面ごとの協働の実際